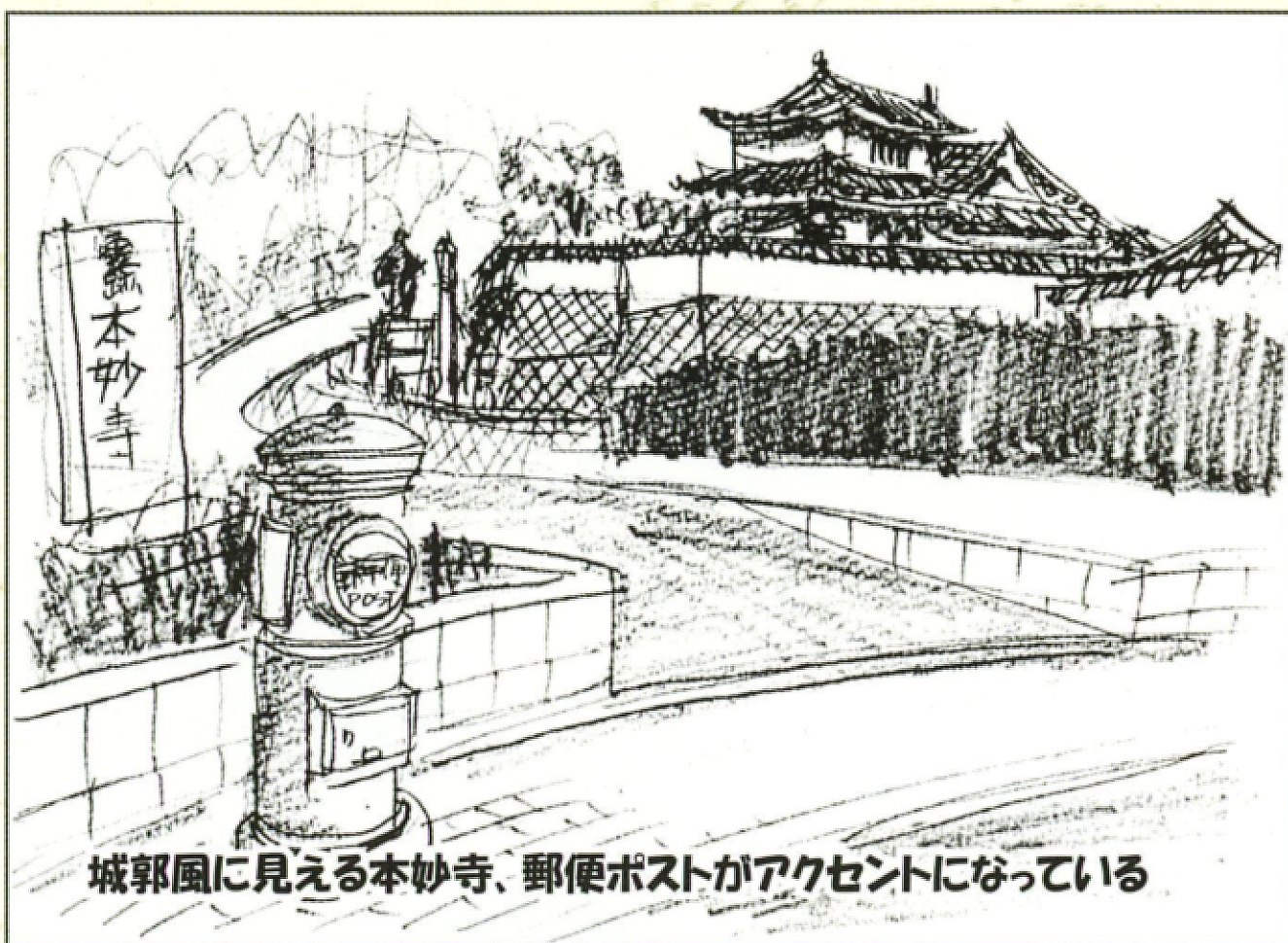




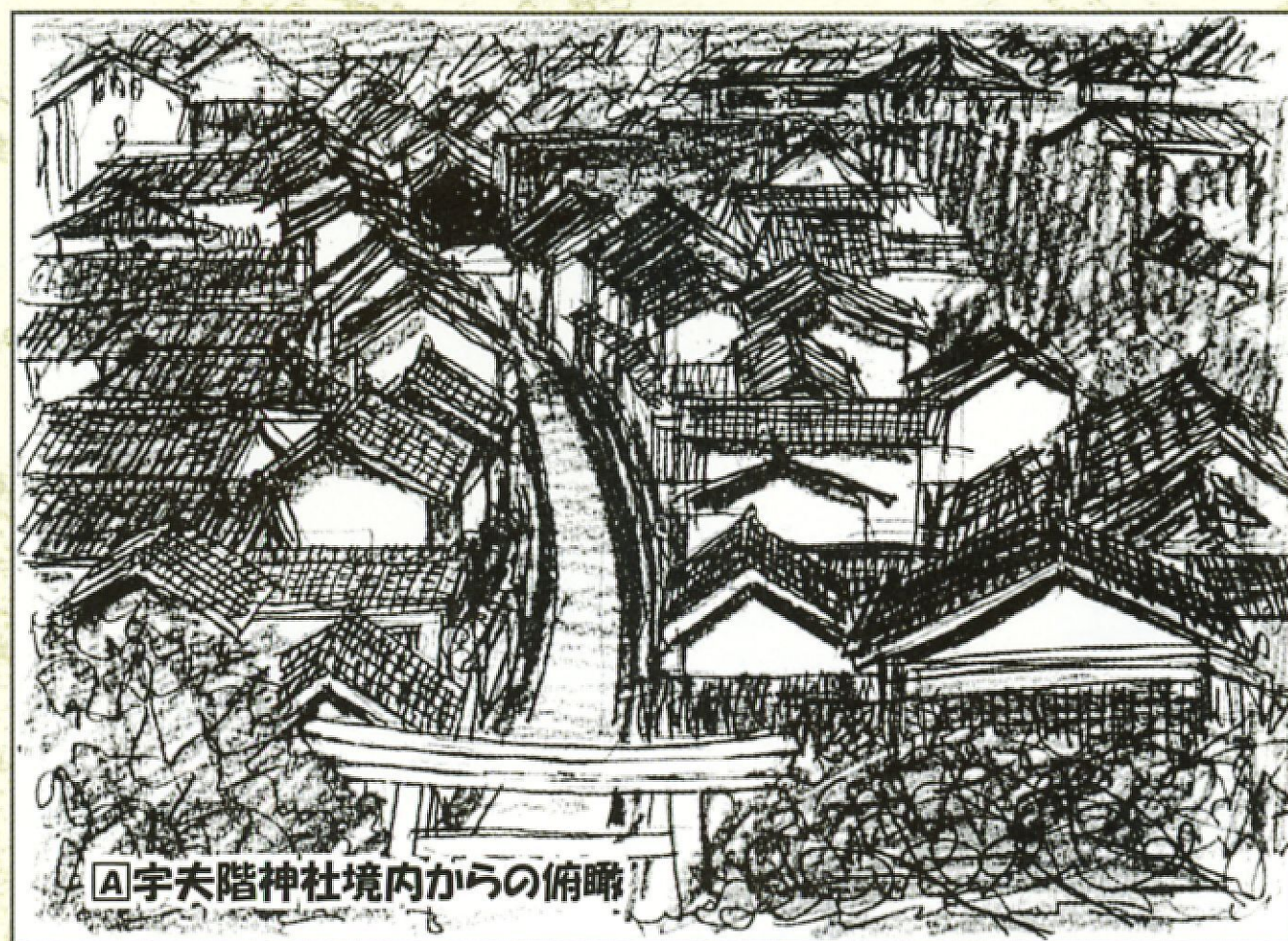
④宇夫階神社の鳥居がアイストップになる西町中の街並み



左右の「対比」が面白い横町(④宇夫階神社東側)の街路



城郭風に見える本妙寺、郵便ポストがアクセントになっている



④宇夫階神社境内からの俯瞰

宇多津

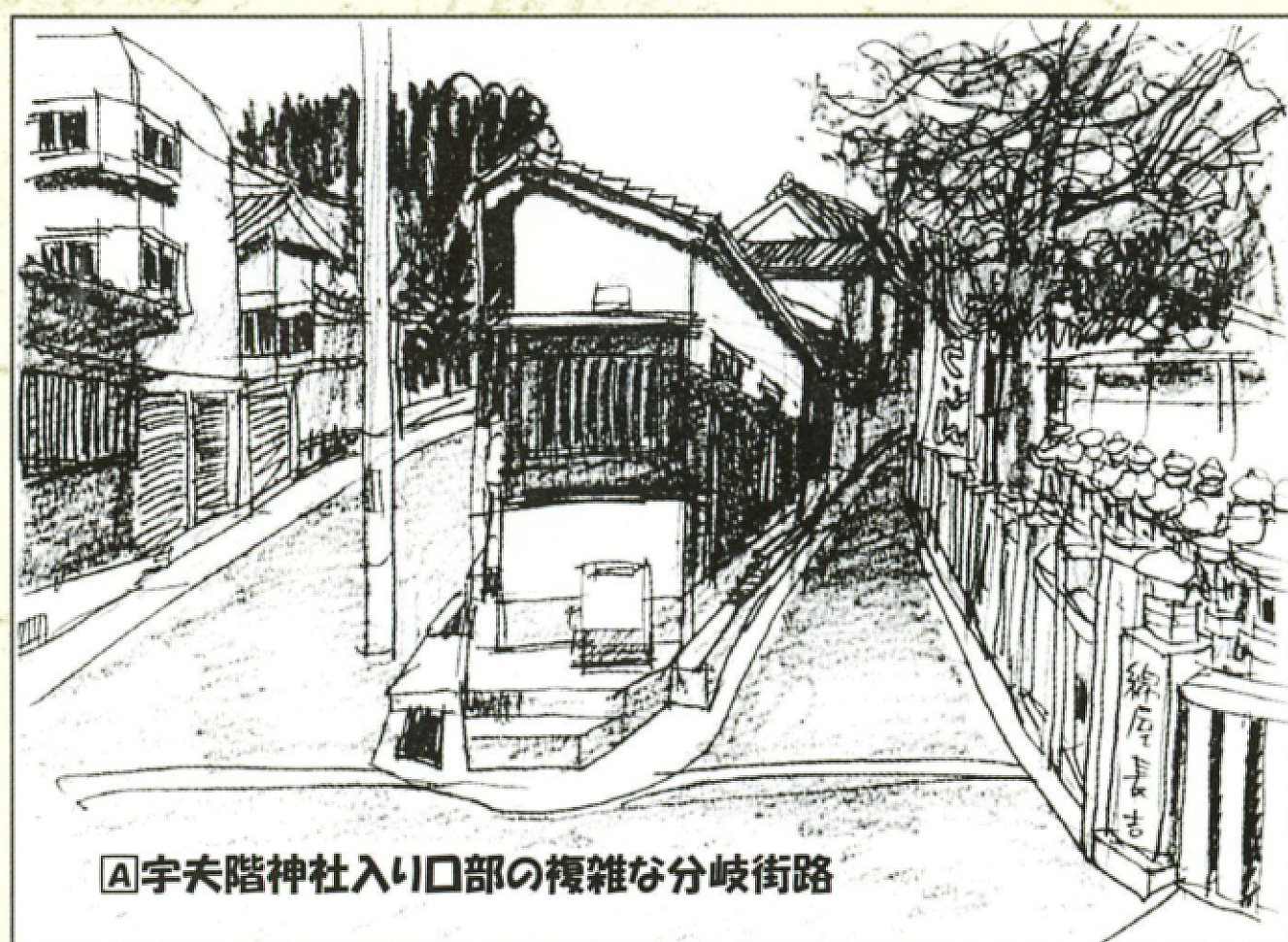
co-machi 街 絵地図



伊勢の宮神社境内



Y路地に見える西町東(丸亀街道)の街並み



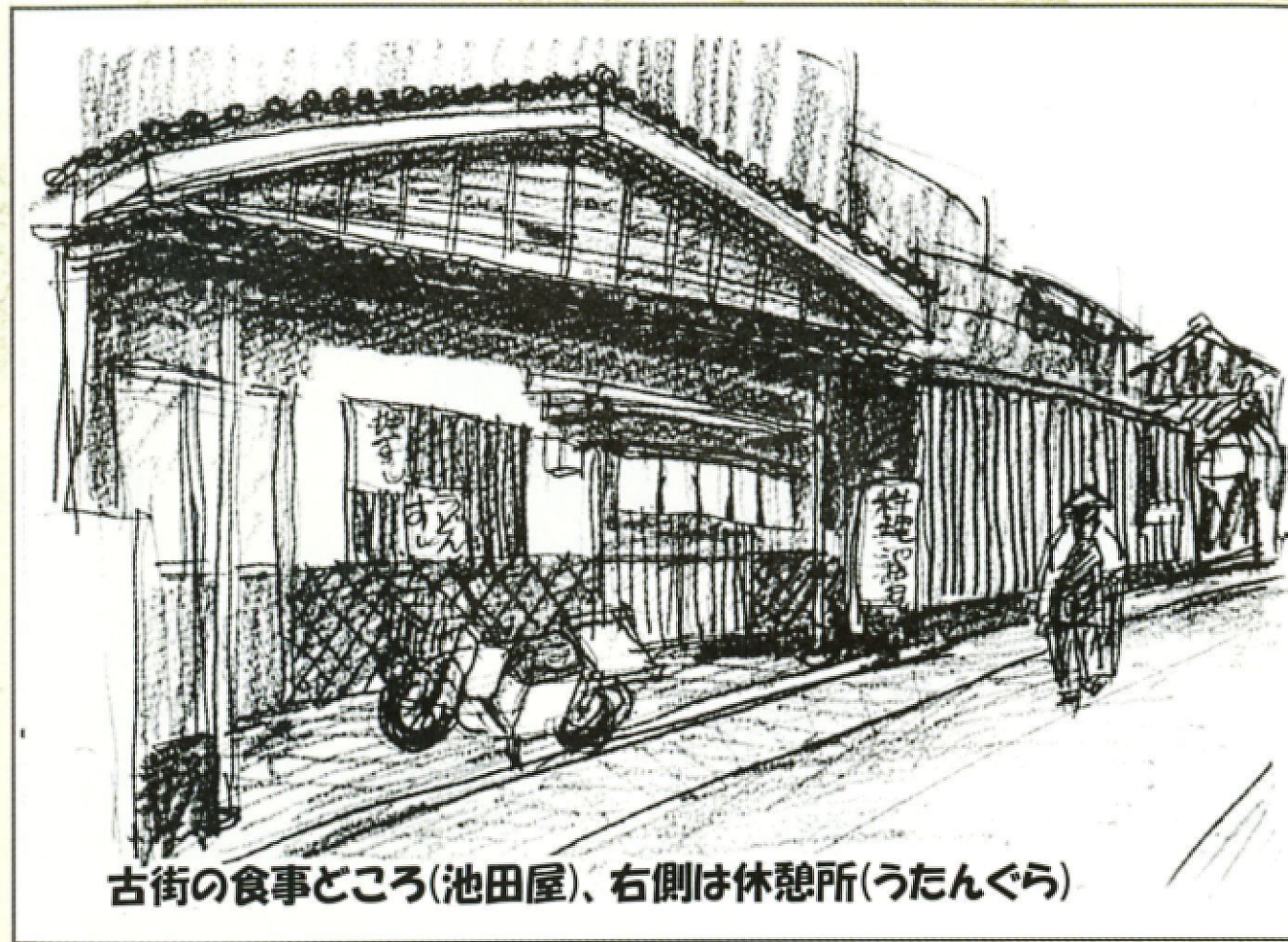
④宇夫階神社入り口部の複雑な分岐街路

絵になる美しい街

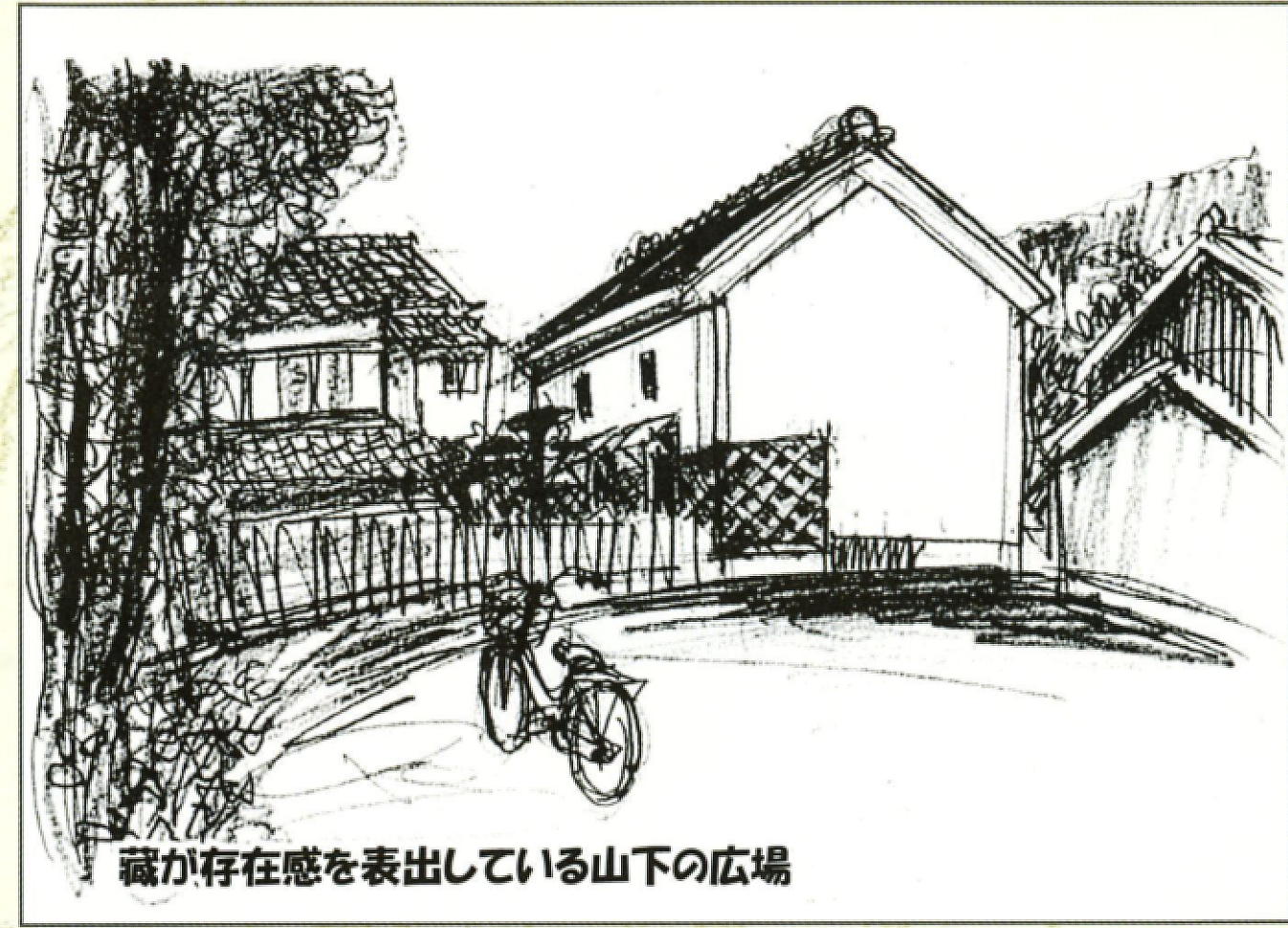
歴史上、13世紀から登場する宇多津は港町として繁栄したことから、由緒ある神社仏閣や町家、それに小社周りの広場、ヒューマンスケールの街路や路地、等々が今に引き継がれています。特に、聖通寺を含めた1社9ヶ寺、歴史的建造物といえる町家約100棟は、古街を特色付ける重要な景観形成要素であり、これらが絵になる美しい景観を醸成しています。



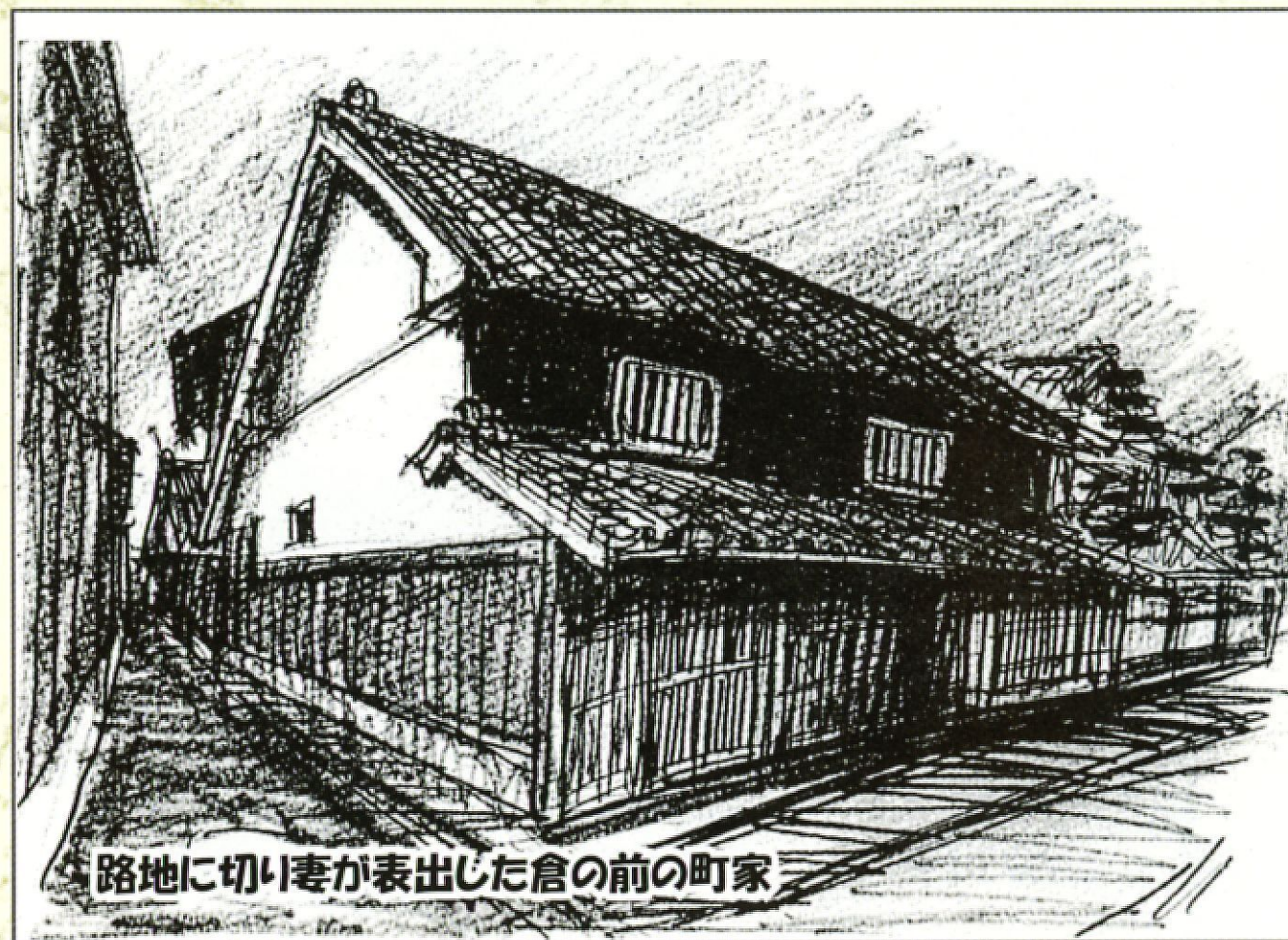
水主町の路地



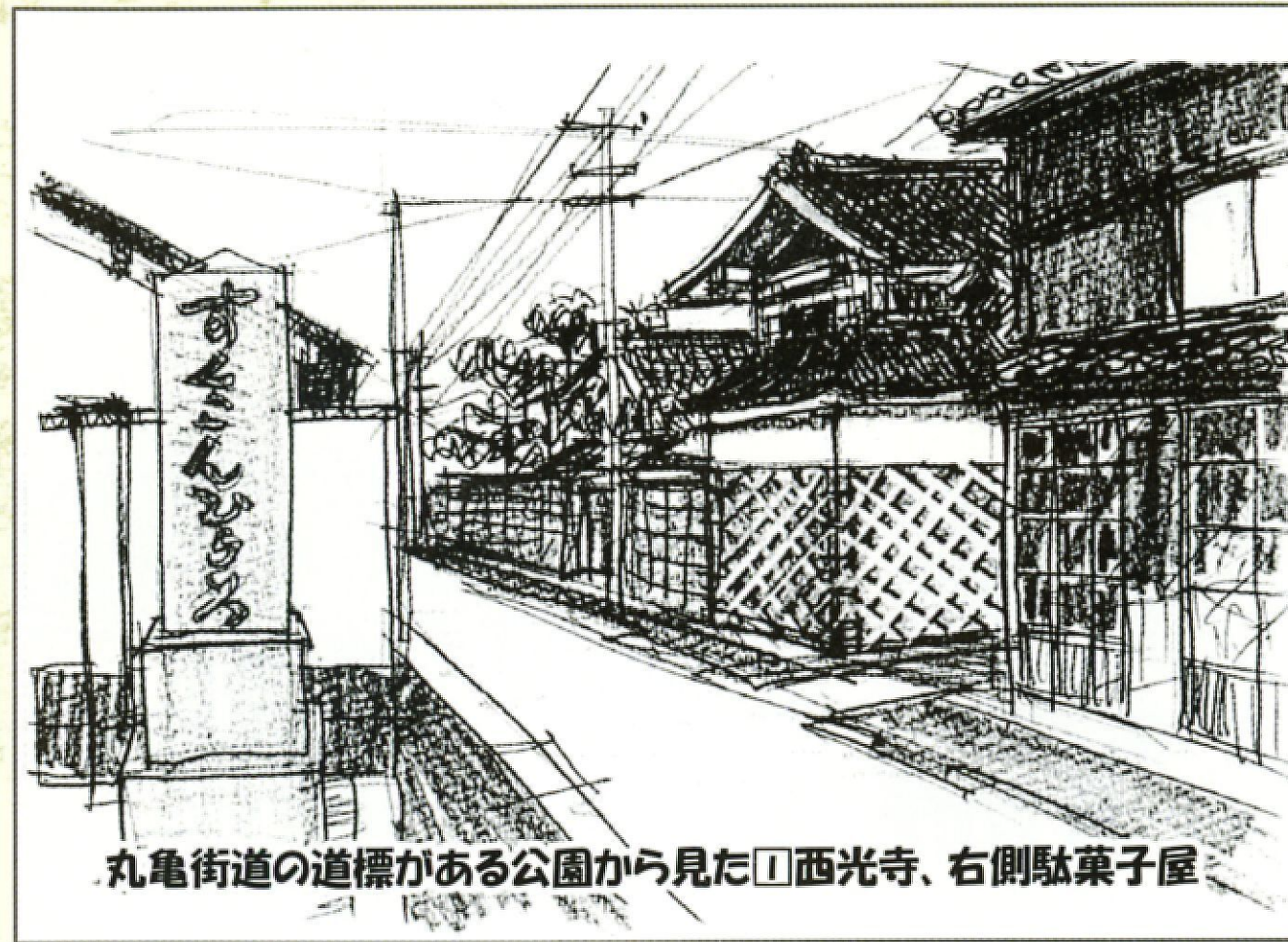
古街の食事ところ(池田屋)、右側は休憩所(うたんぐら)



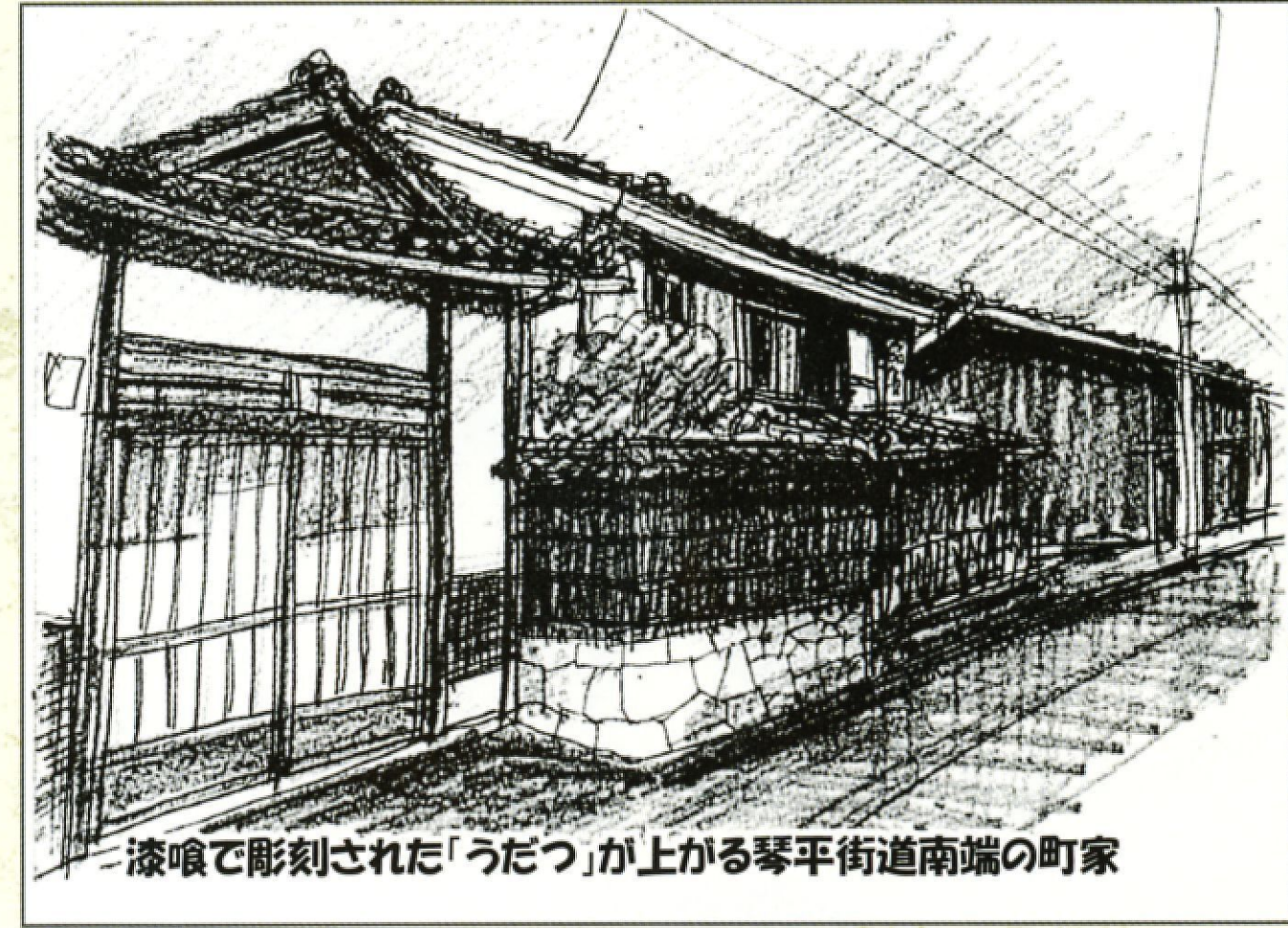
蔵が存在感を表出している山下の広場



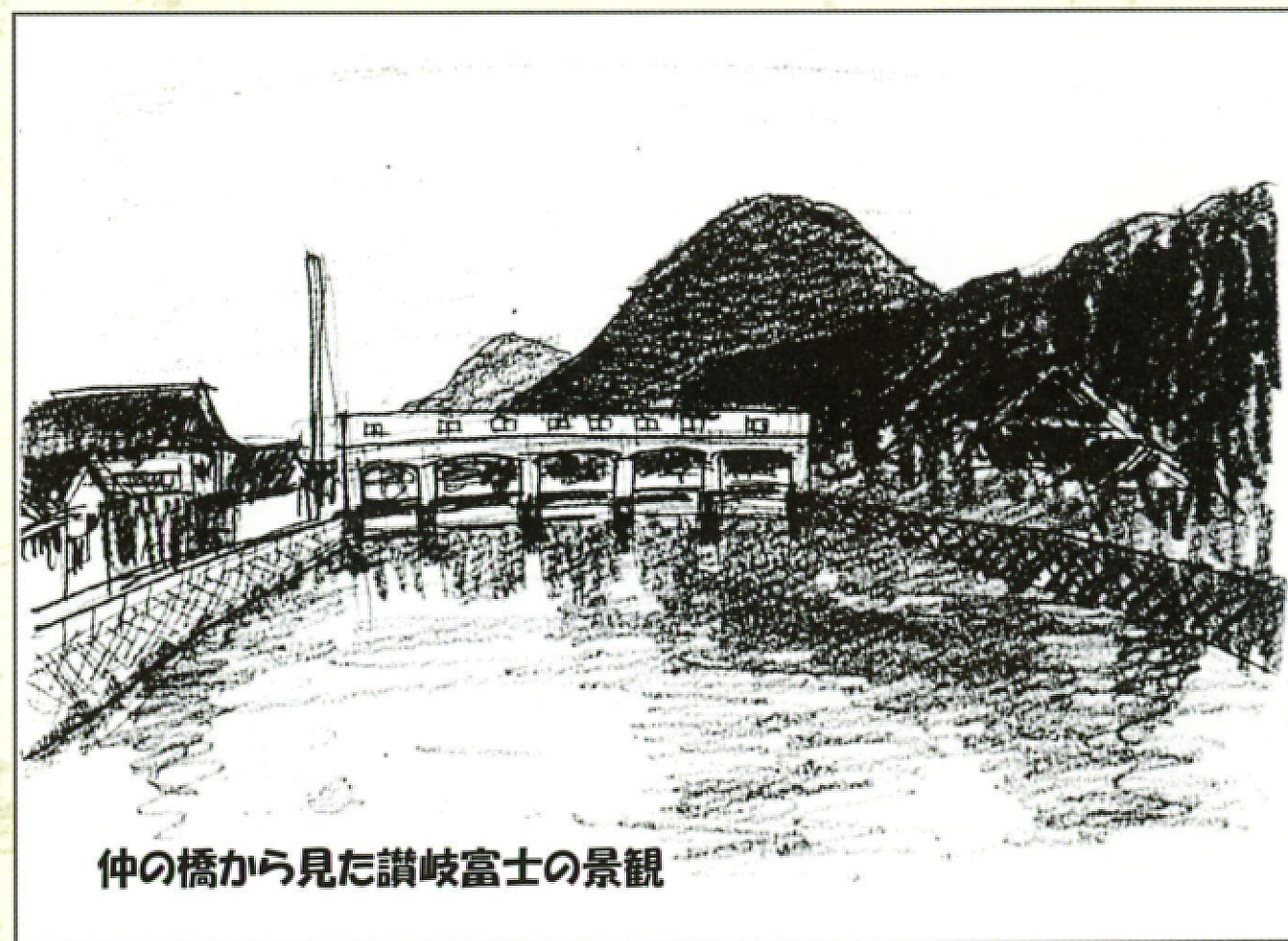
路地に切り妻が表出した倉の前の町家



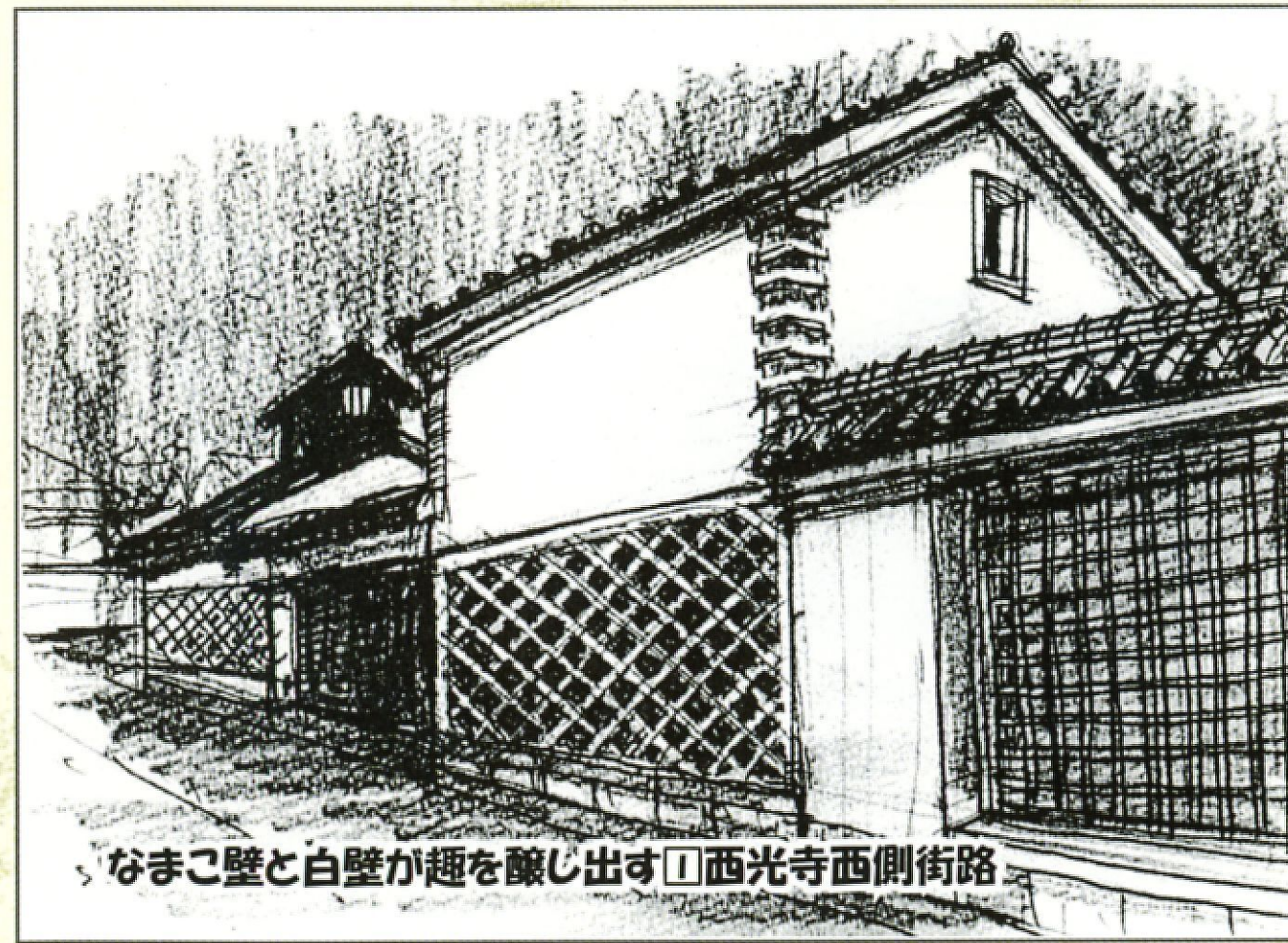
丸亀街道の道標がある公園から見た西光寺、右側駄菓子屋



漆喰で彫刻された「うだつ」が上がる琴平街道南端の町家



仲の橋から見た讃岐富士の景観



なまこ壁と白壁が趣を醸し出す西光寺西側街路



情緒ある若宮橋から見た若宮神社

◇ 景 観 へ の 誘 い ◇

いざな

● 1 社 9 ケ 寺 及 び 小 社 周 辺

東の聖通寺山麓に位置するJ聖通寺や大束川の西側に位置するI西光寺、H円通寺、G多聞寺、F南隆寺、E聖徳院、D浄泉寺、C郷照寺、B本妙寺、A宇夫階神社、更には各町でお祀りしている数え切れないほどの小社、等々の神仏に関わる事物によって醸し出されるたたずまい。

● 街並み

①新町（丸亀街道の東端）：町家が密に建ち並ぶ商家町の街並み。特にくの字に「折れ曲がる」景観。

②新町の大束川東岸近辺：直角に折れ曲がる丸亀街道沿いの板塀のある江戸時代の町家が建ち並ぶ街並み。

③西光寺周辺：古街の貴重な景観資産である白壁の塀に囲まれた西光寺に因って醸成される景観。

④西光寺の南側浦町周辺：江戸時代の主家と塀で構成された㊦邸等のお屋敷的な風情。

⑤倉の前・水主町周辺：倉の館三角邸等、明治・大正期の町家が混在する街並み。

⑥丸亀街道の西側：小規模町家が建ち並ぶ商家的街並みや神社仏閣に付属する塀に沿った街路景観。

⑦琴平街道の南側：漆喰で彫刻した「うだつ」を上げた町家等が見られる街並み。

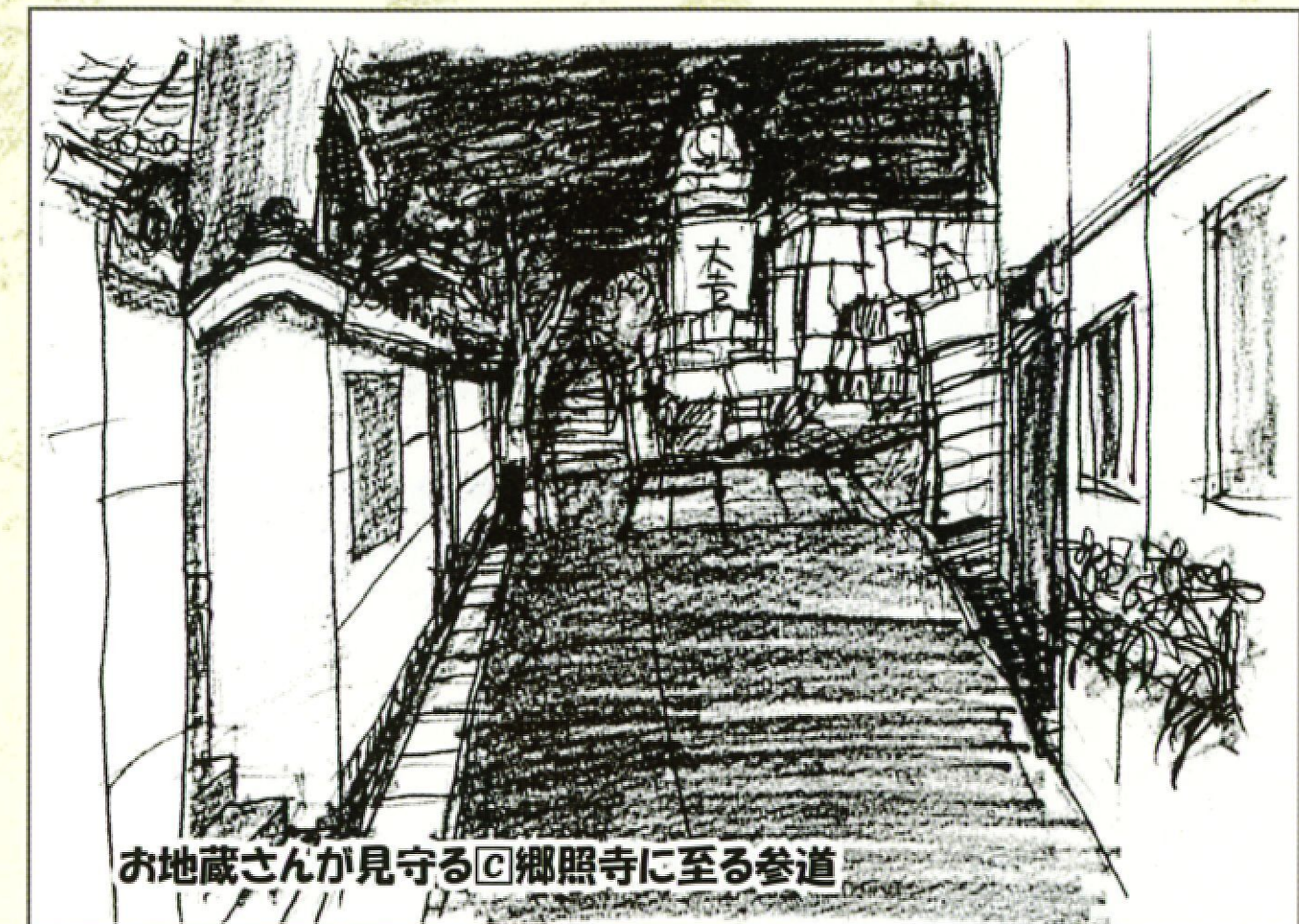
発 行 ： 宇多津町 平成22年3月

絵と文 ： 川村眞次

* 禁・無断転載。 * 実際と異なる場合があります。



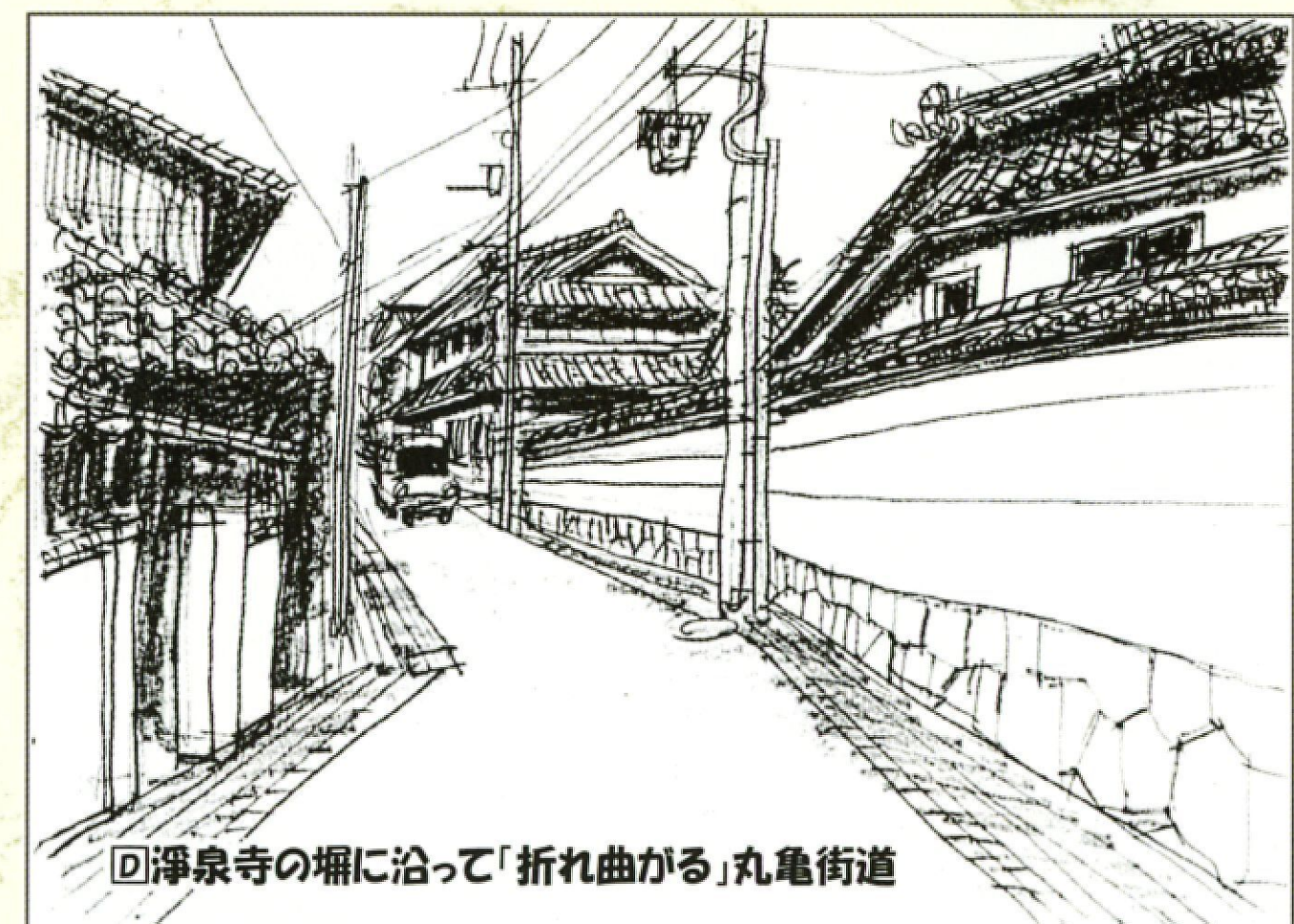
本町でお祀りしている神社の西側街路



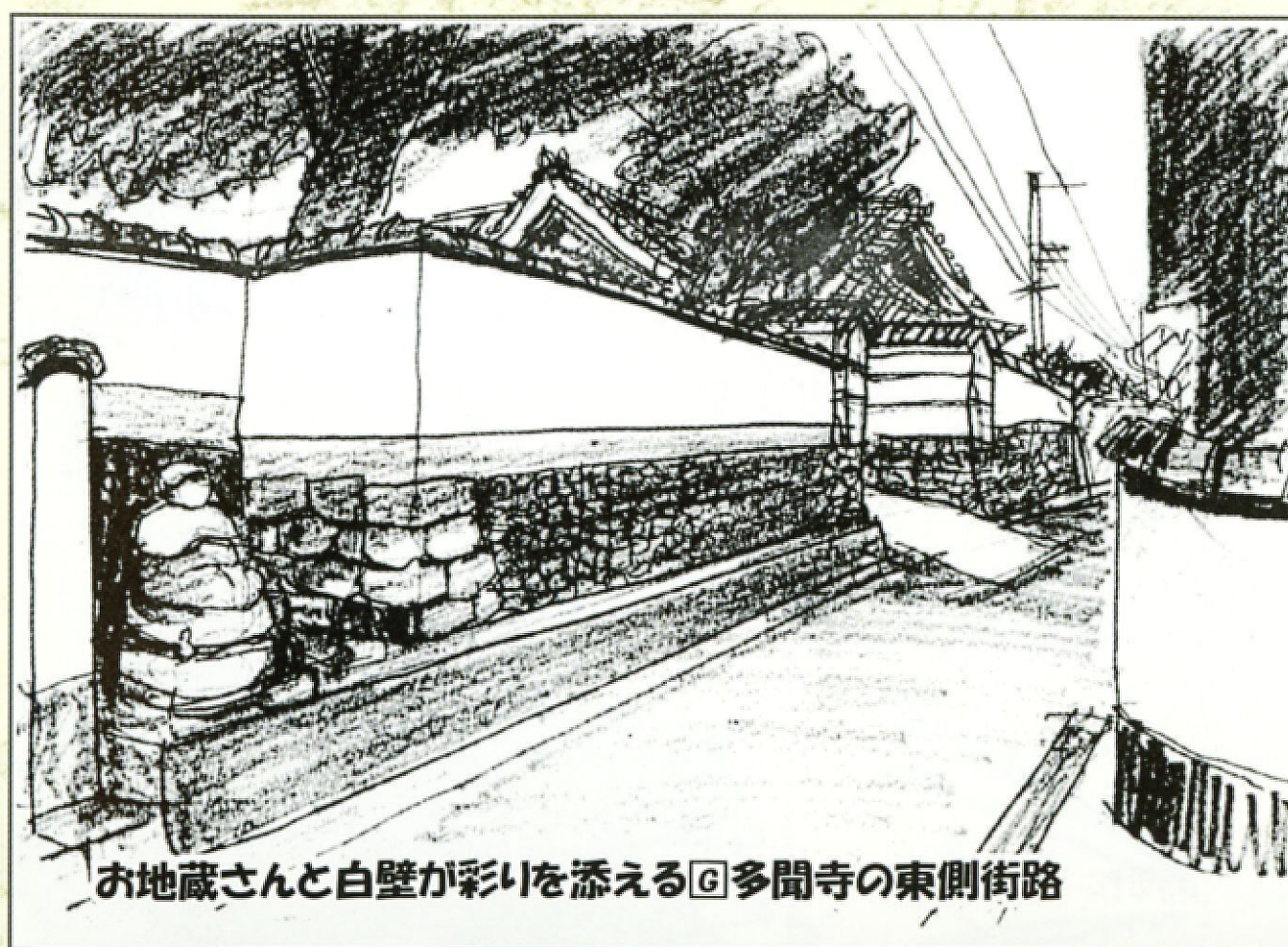
お地蔵さんが見守る㊦郷照寺に至る参道



なまこ壁と白壁が趣を醸し出す本町の街路



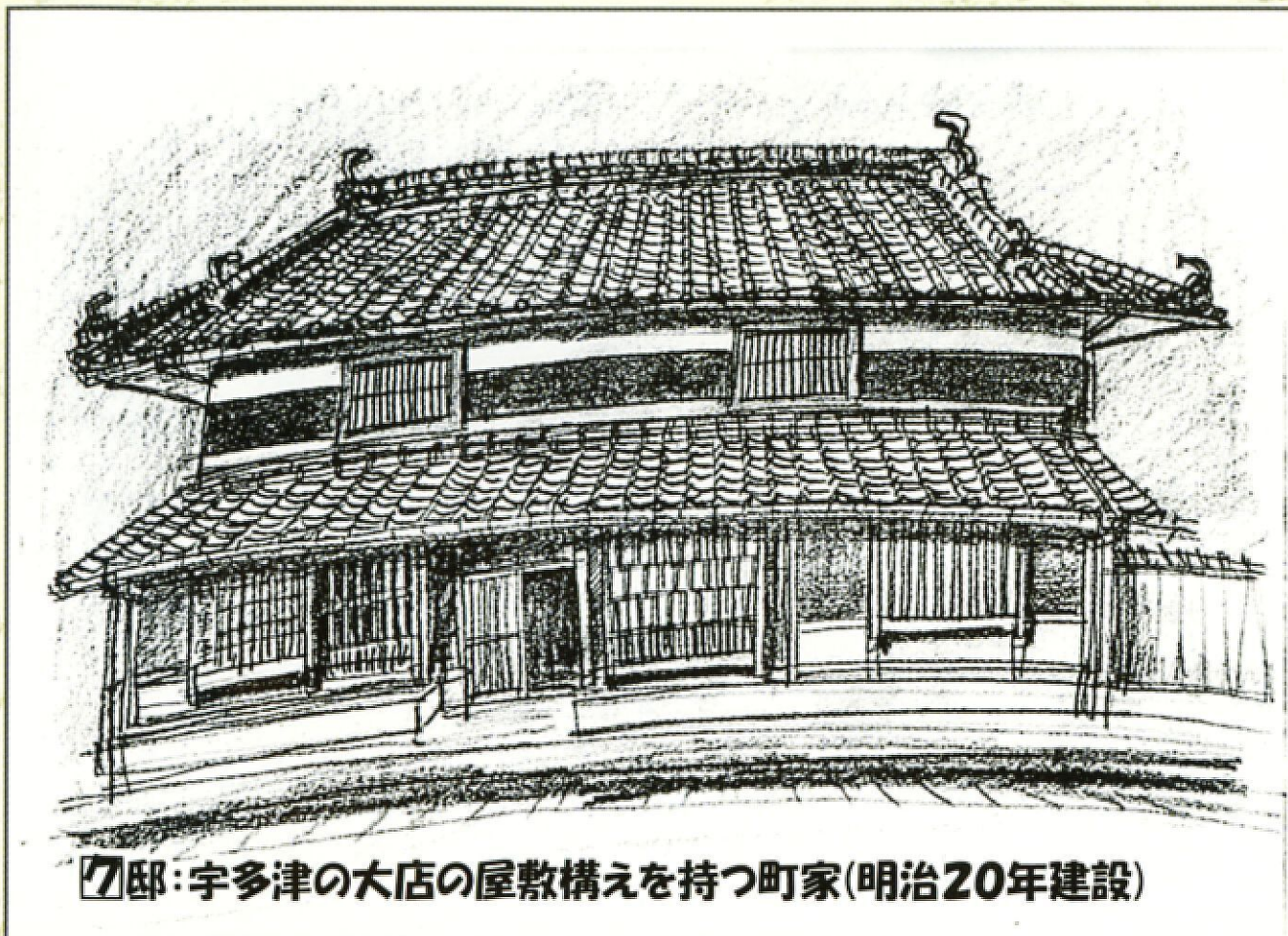
㊦浄泉寺の堀に沿って「折れ曲がる」丸亀街道



お地蔵さんと白壁が彩りを添える㊦多聞寺の東側街路



㊦浄泉寺東側の街路



⑦邸：宇多津の店の屋敷構えを持つ町家(明治20年建設)

◇宇多津の町家◇

宇多津の古街に引き継がれている町家は江戸時代末期から昭和初期のものです。その特色は京町家に見られるような隣家と軒を接して建ち並ぶ一般的な町家以外に、隣家との間に板塀等の塀を設けた町家が数多くあることです。

一般的な町家の屋根は切妻造ですが、宇多津では角地に面する建物や、敷地の間口が広く隣家との間に余裕がある場合に、入母屋造にした事例が多く見られます。

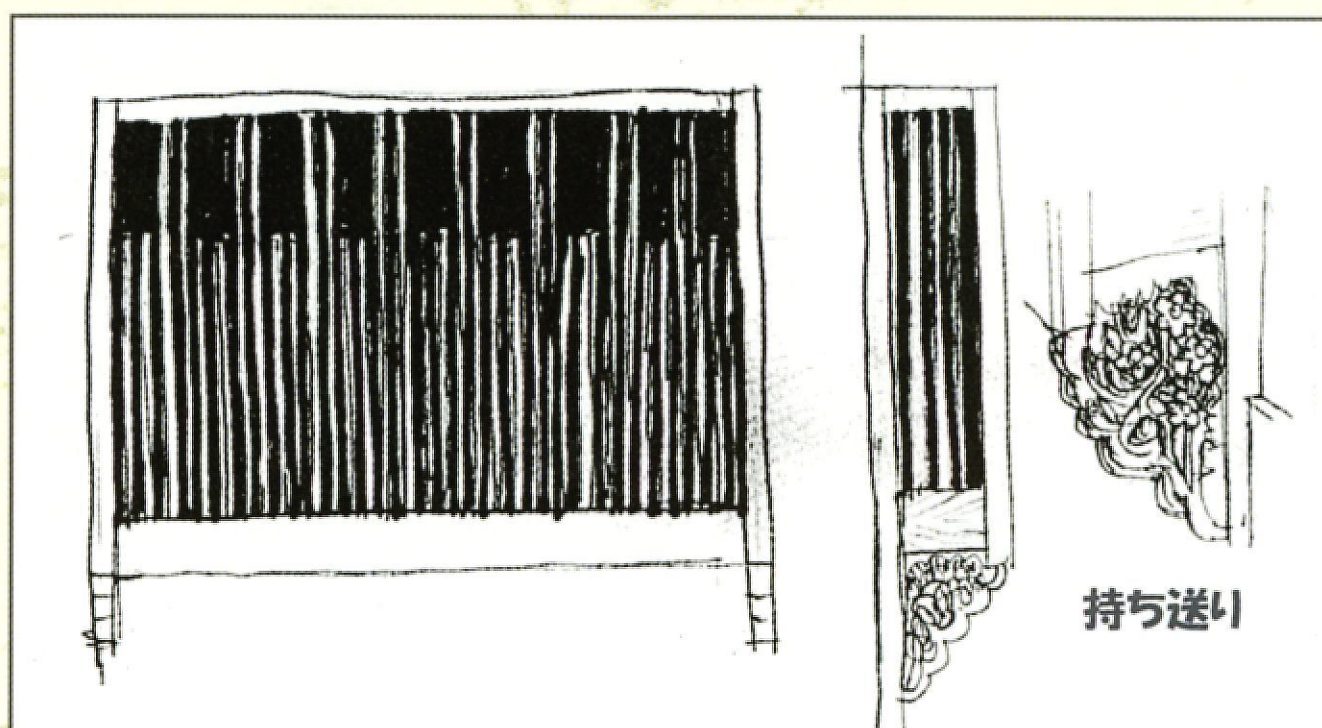
また、1階の外壁の殆どは柱を見せる真壁造に、腰の部分は板張りになっています。開口部はアルミサッシに変わっている場合もありますが、戸口には大戸を、居室部には掃き出しの出格子や腰高の出格子を設けるのが伝統的な設えて、興味深いのは出格子に取り付けられている持ち送りに様々な彫刻を施している事例が見られることです。更に、格子の部分をよく見れば、幅の広い格子を前後2重に設け、後ろの格子を移動することにより開閉する無双窓^{むそうまど}が残っている町家もあります。

2階の外壁は柱を覆ってしまう大壁造で、軒裏も塗り込め一切木部を見せない型式が多く、窓には虫籠窓が設けられ、古いものは建具の無い太い格子を設けた単純な形態に、明治以降は漆喰で凝った彫刻を施した形態になっています。

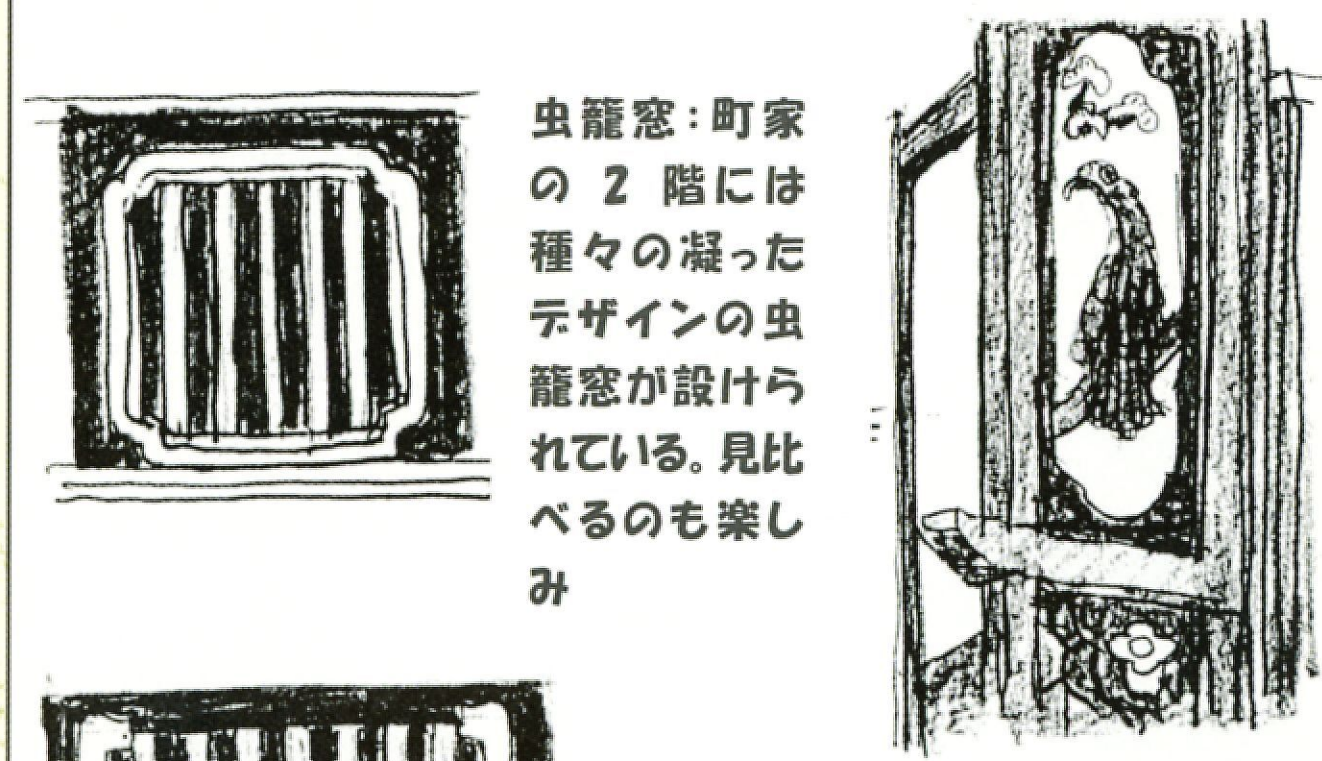
これらの町家は宇多津の歴史的な社会資産ですから、大事に継承したいものです。



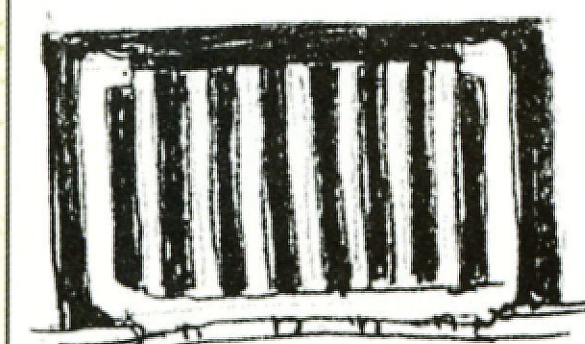
くの字に折れ曲がる丸亀街道東端



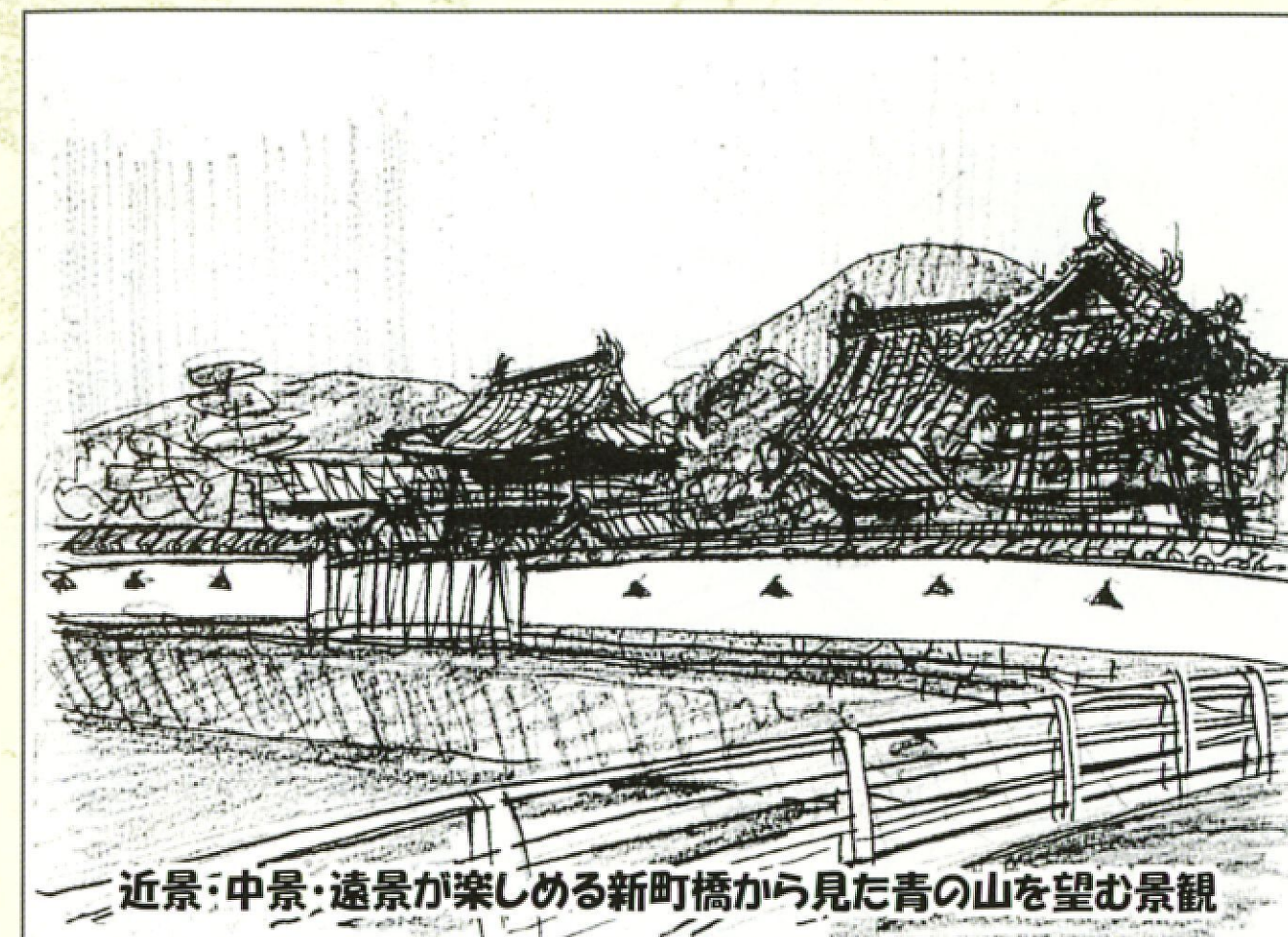
出格子：開口部には細密な彫刻を施した持ち送りのある出格子が取り付けられている場合が多い、それらのデザインは町家によっていろいろ



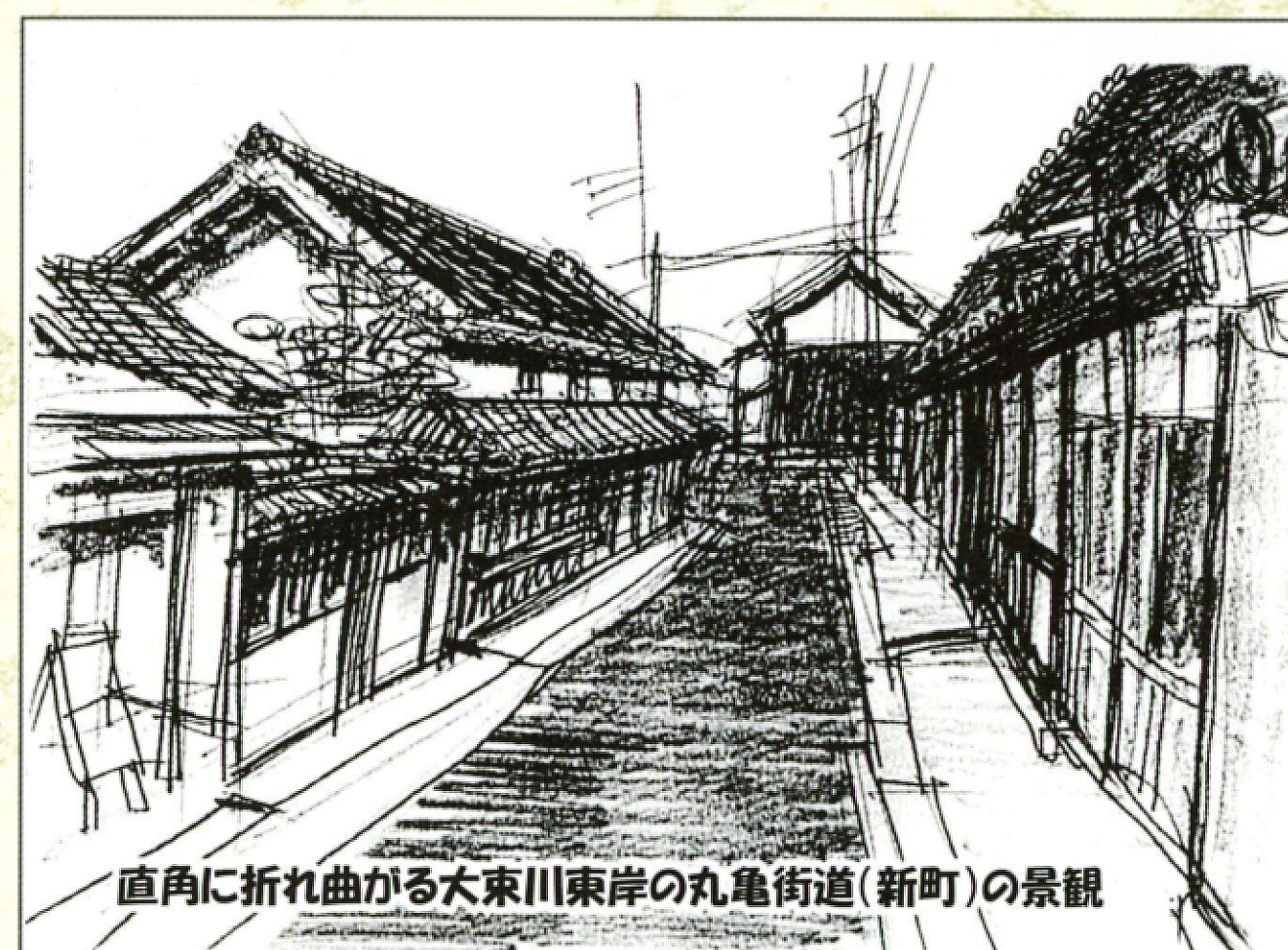
虫籠窓：町家の2階には種々の凝ったデザインの虫籠窓が設けられている。見比べるのも楽しみ



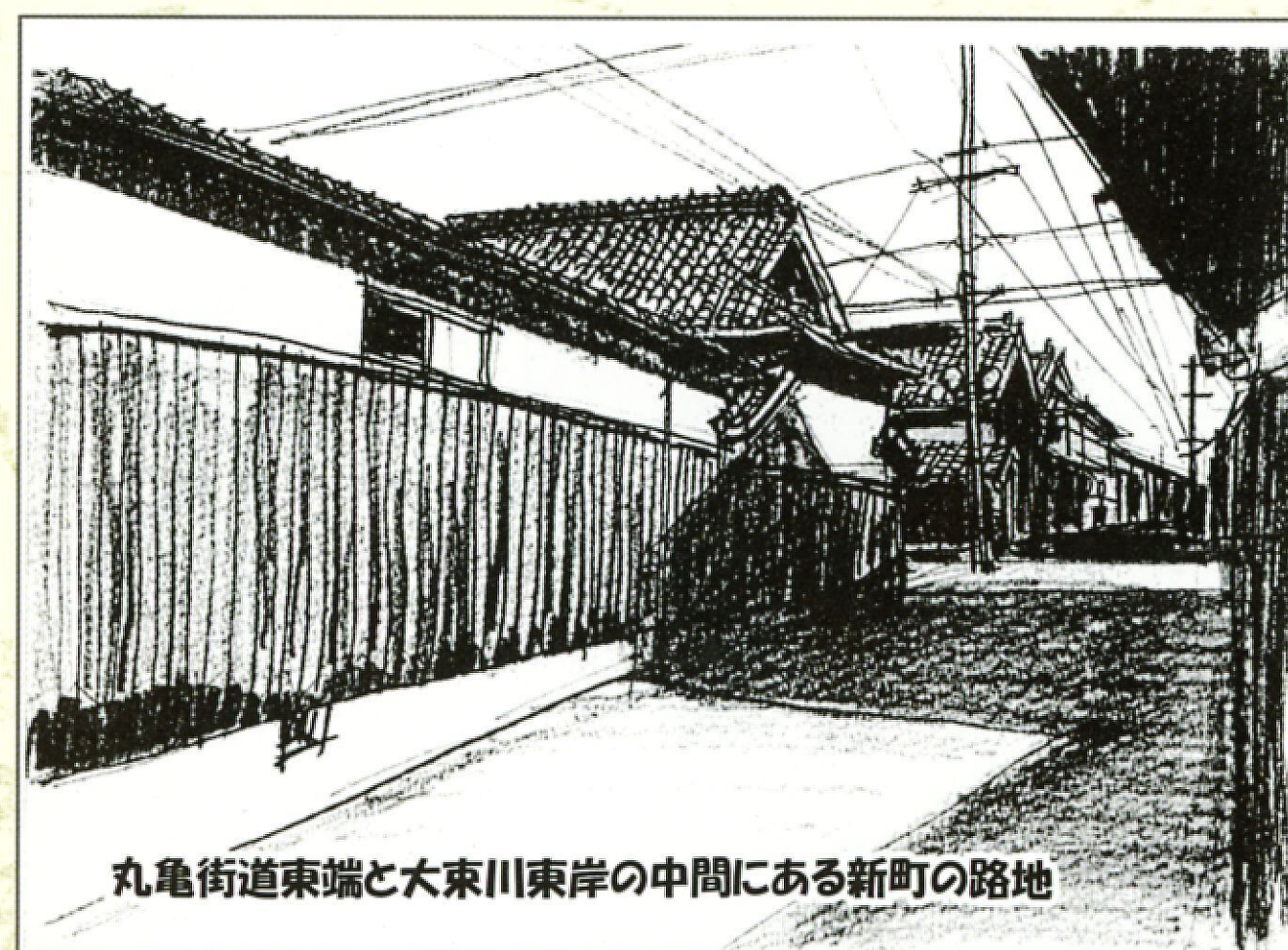
うだつ：宇多津の「うだつ」は希少。琴平街道南端で見られる町家の「うだつ」は漆喰で彫刻され、見応え十分



近景・中景・遠景が楽しめる新町橋から見た青の山を望む景観



直角に折れ曲がる大東川東岸の丸亀街道(新町)の景観



丸亀街道東端と大東川東岸の中間にある新町の路地

